校内研究レポート報告会

【学年】 6年 【教科】 国語

【単元】 「学級討論会をしよう」

【実践内容】

ねらい 一つの問題を、肯定・否定の両面から考え、話し合いによってそれぞれの考えの長所・短所を知り結論を導こうとして討論する。

学習の展開

1. 学級討論会をする目的を知り、学習の見通しを持つ。
  - ・教材文を読み、ねらいや準備、進め方をつかむ。
2. 学級の中で、みんなの問題として、討論してみたいことを話し合う。
  - ・テーマの設定 “昼食は、給食よりもお弁当にすべきである。”
3. 自分の考えを討論会シートに書く。
4. グループに分かれて、役割を分担する。
  - ・肯定、否定、討論を聞く3つのグループに分かれる。
  - ・主張する人、質問に答える人の役割を決める。
  - ・司会者、記録者を決める。
5. グループ内で、討論会のリハーサルをする。
6. 討論会をする。

子どもの「知的好奇心」を引き出す手だて

- ・テーマが子ども達の関心のある身近なものとなった。
- ・ワークシートを活用し、自分の考えを書く活動を取り入れた。
- ・自分の考えを持って、討論会に参加した。
- ・リハーサルを通して、考えをさらに深めることができた。
- ・グループごとの席にして討論会に臨んだ。

子どもの様子

テーマ設定の際には、教師から5つの話題を投げかけ、子ども達による多数決で“昼食は、給食よりお弁当にすべきである。”というテーマに決定した。栄養バランスを考えた学校給食と手作り弁当の温かさを子ども達は思い浮かべた事と思われる。身近なテーマであり、理由付けをした自分の考えを持って、討論会に臨むことができた。グループ内で主張する人と質問に答える人の役割を決め、リハーサルを通して質問を想定した答えの練習をしながら、自分たちの考えを深めることができた。討論会本番での肯定グループと否定グループの各5人は、お互いに自分の意見をぶつけ合い活発な話し合いとなった。最後は、聞くグループの代表者が意見をまとめることとなったが、肯定・否定グループのどちらも説得力があり、給食もお弁当もお互いの良さがあるという結論に落ち着いた。

ただ、聞くグループの人数が多く、討論会本番では、自分の考えと比べながら聞くということから気持ちが薄れてしまったことが残念であった。